

## 春木地区公民館、久米田青少年会館の廃止を含む、公民館及び青少年会館の再編計画が発表

### 公民館及び青少年会館 再編第1期実施計画

#### (1)春木地区公民館・青少年会館の廃止

築50年が経過し、老朽化し耐震性にも欠けている。  
令和7年度末までに廃館し、公民館分館(春木市民センター)に統合する。



計画の詳細

#### (2)久米田青少年会館(岡山町公民館)の廃止

築59年が経過し、老朽化し耐震性にも欠けている。  
令和7年度末までに廃館し、山直地区公民館(山直市民センター)に統合する。

#### (3)城北地区公民館と新条地区公民館のあり方の検討

城北地区公民館は築51年が経過し、老朽化し耐震性にも欠けている。  
代替場所を確保した上で、近くの新条地区公民館との今後について早期に公表する。

#### (4)光陽地区公民館とふれあい朝陽の機能集約

築54年が経過し、老朽化が著しく令和8年3月に廃止し、高齢者ふれあいセンター朝陽・旧デイサービスセンターとともにリニューアル・新施設として令和8年4月に開館する。

### 地区公民館：社会教育施設

#### 目標耐用年数 65年

施設名	築年数
1. 久米田 /1964年	6
2. 光陽 /1969年	11
3. 山滝 /1969年	11
4. 城北 /1972年	14
5. 箕土路 /1972年	14
6. 春木 /1973年	15
7. 大芝 /1978年	20
8. 葛城 /1986年	28
9. 葛城上 /1986年	28
10. 山直 /1993年	35
11. 分館 /1994年	36
12. 光明 /1998年	40
13. 新条 /1999年	41
14. 中央 /2001年	43
15. 天神山 /2002年	44
16. 旭 /2009年	51
17. 八木 /2013年	55
18. 常盤 /2013年	55
19. 大宮 /2019年	61



### 再編計画に対する意見（一般質問より）【宇野真悟】



動画↑

本市の公共施設最適化計画では、「同じ用途の施設が重複している場合」や「稼働率の低い施設」については、地域のニーズや利用率を鑑み、施設の廃止を含む集約化や複合化による最適化をはかるといふ考えであり、施設の廃止しか明示されていない。本市では公共施設の耐用年数を65年と定めているわけだから耐用年数を迎つつあり必要性のある施設については、建て替え計画や代替施設について明確にすべきである。

特に地域の公民館や青少年会館は、地域の思いが詰まっており、再編計画に対して市民から多くの意見が寄せられている。地域から愛され活用されている証拠であり、公民館や青少年会館の再編は、地元としっかり協議して丁寧に進めていくことを強く要望する。

### ☆地区公民館・青少年会館：地域活動の拠点

### 地区市民協議会の拠点/地区の役所

### 地区公民館 廃館 ⇒ 地域活動は全て廃止



写真1. 春木地区公民館



写真2. 久米田青少年会館

## 新庁舎建設：活断層・津波・高潮の影響がある現在地は不相当だ！【井舎英生】庁舎建設特別委員会委員

### 活断層地震の特徴

市が新庁舎建設を計画している現在地には、大阪湾南東岸断層「活断層」が通り、津波・高潮の襲来も想定されている。

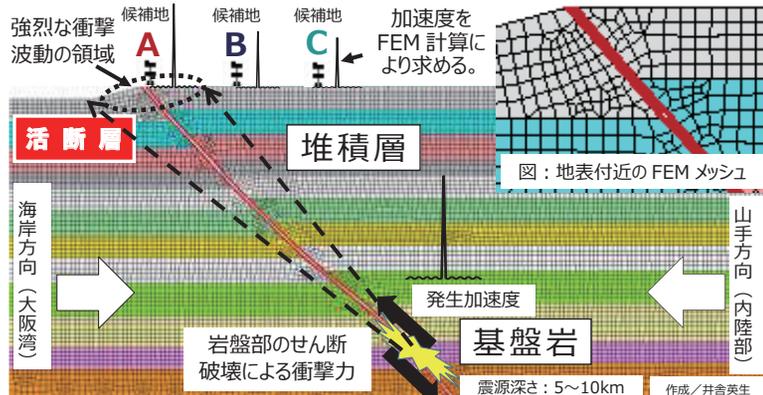
神戸地震のように都市直下地震では、活断層に沿って強烈な縦揺れ・横揺れと地表に断層が出現し大きな地盤変位に襲われて倒壊などの甚大な被害が発生する。この大きな地盤変位等への対策は、**新耐震基準法では全くの想定外**です。

すなわち、**新建築基準法・新耐震設計法による建物でも活断層地震による大きな地盤変位には全く無力なのです。**

市長の施政方針「日本一災害に強いまち岸和田を目指す」に反する現在地での新庁舎は、**防災・災害拠点には不適格です！**

◎ **建設地の安全性比較**：活断層地震の衝撃解析を行い、3地点の震動加速度の強さを比較して候補地を選ぶべきだが、市は活断層・地質調査等を何も行わない。

候補地：活断層線の近傍 **A**と **B**(0.85km), **C**(1.35km) 3地点  
衝撃的な鉛直波動（加速度）の相対的比較/ソフトウェアLS-DYNA等



### 新庁舎建設の現候補地の問題点

市は、活断層地震・耐震工学の専門家ではない某国立大学名誉教授（海岸・河川工学分野）の「耐震基準を満たせば建設しても構わない、活断層の上はどこでも揺れる」の無責任な見解を根拠に活断層のそばに建設することは、リスクを全く無視した判断である。リスクのある場所に建設すると、市長や建築士などは、市民から不法行為者として告発されて敗訴するおそれがあり、公共工事事業の公金返納も発生する可能性がある。



写真3. 築52～69年の現庁舎

富田林市や長崎県大村市なども当然、新庁舎建設は活断層から離れた場所である。**原発さえ活断層のそばには建てない。**

**市は、都市再生特別措置法第81条等の遵守義務がありますが、この法律を無視しているようです。以下を指摘します。**

- ① 災害ハザードエリアにおける新規立地の抑制。
- ② 災害ハザードエリアからの移転の促進。

【参考】活断層地震の専門家/地球物理学の教授は、一般的には「活断層の近傍・現地 **A** に比べ **B** 地点、**C** 地点の方が、より安全だ」との見解です。

### 新庁舎は活断層・津波・高潮から離れよう



**建設場所は、市民に聞こう。**

# 令和5年第3回定例市議会 決算常任委員会、一般質問からの報告

## 【決算常任委員会】令和4年度決算を認定 【宇野真悟】

無所属フォーラムは以下を要望し、決算認定に賛成しました。

一、バス交通充実事業において、単純な補助金投入にとどまらず、MaaS や次世代モビリティの活用など様々な施策を総動員し市民生活を支える公共交通の維持発展に努めること。

一、文書整理に関する取組について、行政文書、いわゆる公文書は市の意思決定に関わる重要な書類である。関係する課による点検と協力体制を作り慎重かつ適切な管理を行うこと。

一、不法投棄防止事業においては、防犯カメラの抑止効果が確認できたということである。関係各課と連携し、啓発看板なども含め設置箇所の拡大を行うこと。

一、農業用原材料等支援事業について、現在も燃料価格などの高騰が続いている。今後このような事業を実施する際には、対象者と対象店舗を拡大すると共に、他の業種、事業者ならびに市民に対しても物価高への支援を行うこと。

一、企業経営支援事業、岸ビズについては、開設から3年が経過している。事業の成果、費用対効果について詳しく検証し、今後の事業のあり方を見直すこと。 以上

## 【事業常任委員会】水道料金の値上げは先送りに 【宇野真悟】

給水人口の減少などの理由から、令和6年4月から水道料金を全体の平均で18.9%引き上げるとともに、福祉施設料金等を廃止する議案が上程されましたが、物価高が続く中、市の軽減策などが無い中で料金を値上げすることは受け入れられないという理由で継続審査となりました。

### ① 小中一貫統廃合について【昼馬光一】



写真4：東葛城小学校 田植え/広報きしわだ

【昼馬意見】統廃合計画はつまづいており白紙に戻して下さい。その上で、少子化地域のまちづくりについて話し合いましょう。小中一貫ありきでは話し合いが持てない。

【市長発言】白紙とは全ての計画が否定されたことになりそれは承服しかねる。

### ② 市長と教育長との「意見の相違が浮き彫りに」

市長は、今年の初めに「山手に日本一の小中一貫校を創り、保護者に対し、既設校か新設校かの選択を可能にする」と表明された。

昼馬の一般質問の中で、市長は「教育長と市長との間で意見の相違はない」と断言されたが、他の議員の学校選択制の一般質問に対して、教育委員会は「学校を選択させることは、学校を順位づけることになり望ましくない」と答弁された。

しかし、別の議員の一般質問に対して、市長は「日本一の学校を創る考えに変更はない」と答弁しています。これは、既設校と新設校との間で順位づけを行うことになり「教育長と市長との間に意見に相違があると思う」と文教民生常任委員会で指摘したところ、教育長は「相違があり調整を図ります。」と答弁された。

無所属フォーラムニュース発行  
無所属3人議員の会派活動報告で、Vol.2の費用は政務活動費を使用して一部約7,310円×41,550部=約304千円(税込)で4大紙新聞朝刊に折込みさせていただきます。



いしゃ ひでお  
**井舎 英生** (76) 3期  
総務常任委員会委員  
庁舎建設特別委員会委員  
予算常任委員会委員  
会派幹事長  
住所：春木中町  
電話：080-3103-9603

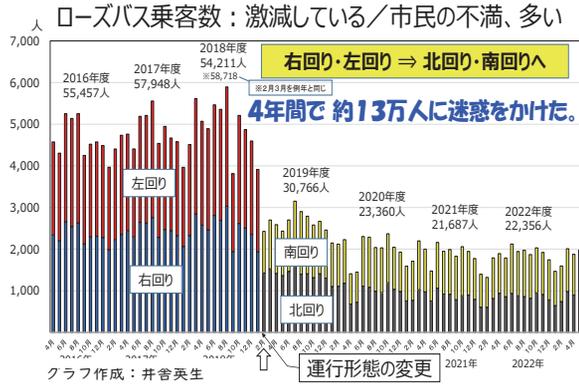


うの しんご  
**宇野 真悟** (36) 3期  
事業常任委員会委員  
決算常任委員会副委員長  
会派副幹事長  
住所：岡山町  
電話：072-442-6551  
http://uno-shingo.com



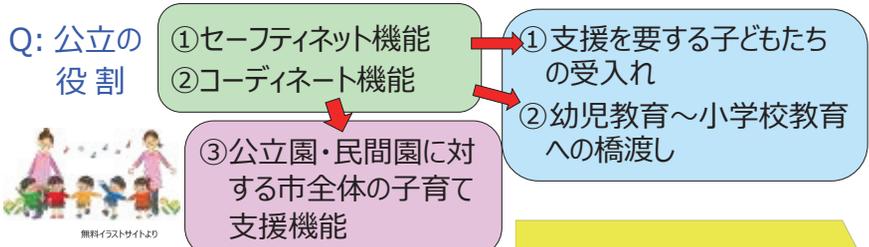
ひるま こういち  
**昼馬 光一** (74) 1期  
文教民生常任委員会副委員長  
予算常任委員会委員  
岸貝清掃施設組合議会議員  
住所：神須屋町  
電話：072-428-7352

## 1. ローズバス両回りの早期実現について 【井舎英生】



ローズバス乗客数：激減している/市民の不满、多い  
動画→  
市の答弁  
元の両回りに戻すことを検討して、令和6年度の予算案へ反映できるようにつとめます。

## 2. 公立認定こども園「公立の役割」について



市の答弁：公立の主な役割は次の3点  
① 支援を必要とする児童の受入れ、民間事業者の参入が困難な地域における児童の受入れ。  
② 小学校への接続教育課程の研究と民間園への普及支援。  
③ 公立への入園を希望する保護者の選択肢の確保。

井舎の意見 ⇒ 公立6園(3次生活圏)から11園(中学校区)+αへ増やす

## 3. 市民道場心技館の廃館について

【井舎意見】心技館は岸和田武道の源、耐震化して残すべきだ。  
↓ 目標耐用年数 65年

施設名	建設年	残年数
1. 市民道場心技館	1961年	3
2. 中央体育館	1966年	8
3. 春木体育館	1972年	14
4. 総合体育館	1996年	38

岸和田城(築69年) ⇔ 道場心技館「修武館 1866年」  
財界・市民の浄財などでS36年に建設された。  
剣道 柔道 居合道 空手道  
注) 大阪城 ⇔ 大阪市立修道館(築60年)  
注) 江戸城 ⇔ 日本武道館(築59年)

岸和田城・心技館 一体の歴史  
天守閣：耐震化・廃城しない。



### ③ 葛城の谷における認定こども園について【昼馬光一】

令和7年度計画の公立旭・太田認定こども園は、184人の園児を把握しきれないので、通園路の安全が保てるのですか。また、令和10~12年度計画の修斉・東葛城・天神山各幼稚園と修斉保育所を統合した民間認定こども園には、絶対に反対です。

### ④ 学校給食の安全性および黙食について

食材にコオロギパウダーを含むゲノム編集されたものを使用していないので安心しました。また、マスク着用での黙食の効果についての検証が行われていないのは残念です。